

会報神奈川

令和4年10月25日発行

発行責任者 神奈川県神道青年会会長 守屋隆広
〒210-0846 川崎市川崎区小田2-14-17 電話 (044) 333-1046

神奈川県神道青年会創立70周年

「生児八十綿連～うみのこのやそつづき～」

会長挨拶



神奈川県神道青年会
会長 守屋 隆広

先ず以て、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げます。神宮に於かれましては、諸祭恙無く齋行されておられますこと、慶賀に存じ上げます。

さて、令和四年度の定例総会において会員の皆様には「青年会活動において親睦が重要であることは言うまでもありませんが、皆様とその場を持つ事が難しい現状にあって、今、研鑽を積み重ね知識を蓄えることが出来る状況は整っておりません。是非、青年という貴重な時間を無駄にしない為に、各局部の枠を越えて手を取り合いながら研修会実施を進めていただきたくお願い申し上げます。」とお伝えしてより、各部長が中心となり様々な研修を計画実施してくれています。

八月の短歌研修会を皮切りに、次号掲載予定の歌会始詠進や当会としては五年ぶりとなります祭式衣紋研修会、またコロナ禍により研修の実施方法として認められる事となったオンライン研修会(暦・易学研修、SDGs研修)の実施、また、来年には書

道や広報の研修会、また新型コロナウイルス感染症の影響を受けて延期しております靖国神社参拝も企画しており、教養部だけでなく渉外部や企画部、広報部なども研修実施に向け積極的に取り組んでいただいております事に感謝申し上げます。

令和元年に「生児八十綿連～うみのこのやそつづき～」を主題に掲げ立ち上げを行い、皆様からご高配を賜り進めて参りました当会創立七〇周年記念事業については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け足掛け三年以上に及びましたが、本年十月十五日に会報「神奈川」創立七〇周年記念号発行をもちまして本周年事業を完結することが出来ました。これも偏に関係各位の御陰と衷心より厚く御礼申し上げます。

是非、会報「神奈川」創立七〇周年記念号もご覧ください。

残り任期も半年を切りましたが、就任の際に誓った精励恪勤の思いで最後まで走り切る所存です。関係各位、先輩諸賢におかれましては、尚一層のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。会員の皆様にはこれからも忌憚なきご意見をお寄せいただきますと共に事業への積極的な参画を何卒お願い致します。

末筆ながら、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息と各御社頭の御隆昌と皆様のご健勝をお祈り申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



神奈川県神道青年会



<http://www.k-jinja.jp/seinenkai/>

シリーズ 言霊



益者 三友
神奈川県神道青年会第二十二代会長
曾屋神社 榎宜 守山 和宏



神奈川
県神道青
年会が、
「生児八
十綿連」

うみのこのやそつづき」を掲げ、創立七〇周年を迎えられましたこと、誠にめでとございます。

顧みますに、私が青年会在籍中、国土東西の大地震が起りました。入会翌年に「阪神淡路

大震災」が起り、自らの体を以て、復興のお手伝い等、その中心的な任に当たった先輩諸賢と共に活動したことは記憶に新しいところです。また、定年退会を近くに

「東日本大震災」が起りましたが、会長として、役員と共に石巻で炊き出しをさせて頂いた程度。その後は、後輩諸子が数年に亘り、復興支援を続けたことは頭の下がる思いです。未曾有の事態の前線で、対応出来る力を出せるのは、「斯界の尖兵」たる、青年ならで

はのこと。
今般、七〇周年を迎えた青年会、これからという時機に「新型コロナウイルス

ナウイルス感
染症」が、洋

の東西を問わず蔓延してしまい、会の外側で漏れ伝え聞く「記念事業の中止や延期」の報せは、創立五〇・五十五・六〇周年に携われたものとして、守屋会長を始め、役員、会

員各位の心中に思いを致すところであります。然しながら、会員相互に、この「禍中」での青年会活動を体験し、往時には無いソーシャルネットワークキングサービス等を駆使され、苦境の最中「体現」されたことは、今後素晴らしい形となつて、次の世代で「具現」される事と信じて止みません。

何人でも、「竹馬の友」といわれる様な、気が置けない友人を持ちます。「青年会活動」は、夫々のお社に「奉職」し、世でいう「社会人」として始まります。会の活動を通して、新しい社会での「友

輩」に出会った筈です。私自身、青年会活動を通じ、「長幼の序」はあるものの、「友」として諭えるならば、先輩後輩問わず、鑑となる様な「知見」に出会えた場

であり、中年真つ盛りの現在も尚、お付き合いをさせて頂く中で学ぶことが多い有様です。奉務神社での立場、諸事情で、志あるも、積極参加が叶わない会員諸氏がいることは、古今を問いません。親睦

事業など参加出来る好機があれば「益者三友」となる、多くの「友」を作って下さい。
過日開催された、「歴代会長座談会」に臨むに、「創立五〇周年

記念誌」の頁を捲る中、青年会の創立に奔走された「鶴岡八幡宮名誉宮司、第二代会長、白井永二氏」(寄稿時)の寄稿が、改めて目に飛び込みました。その結びには、「文化も信仰も変貌が進んでいることは確かです。軌道を自力で修正する自立能力を持ち、悠久の大道は萬世不変であることを信じて活動して下さい。」と。二十年前、我々

後輩に「言葉」を残して下さいました。「体力」が極まる「掛け替えのない青年期」、多くの仲間と共に、信じて活動して下さい。

後輩に「言葉」を残して下さいました。「体力」が極まる「掛け替えのない青年期」、多くの仲間と共に、信じて活動して下さい。

御社頭授与品
御参拝記念品
立案調整

(営業品目)

- 交通安全御守護
- 開運招福鈴
- 文鎮 金盃
- 各種記念品類
- 胸像・レリーフ・鑄造類

鈴木徽章工芸株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生2-12-1
TEL 03-3814-1811 FAX 03-3818-8332
E-mail: info@suzuki-kisho.co.jp
http://www.suzuki-kisho.co.jp

活動報告

神道青年全国協議会
第七十三回定例総会

事務局 局長 中村友郎

令和四年四月二十六日、神社本庁二階大講堂及びウェブ会議システムを併用し「神道青年全国協議会 第七十三回定例総会」が開催されました。当会



からは守屋会長を始め三名で現地にて出席して参りました。

開会式では小林慶直会長の挨拶の後、定例表彰式として広報賞、事業賞、特別賞の表彰、また感謝状贈呈が行われました。議事においては当会

の守屋会長が議長に選出され、審議へと入りました。令和三年度の会務報告に始まり、補正予算案・各種会計収支・会計監査報告がなされ、全て異議無く承認されました。続いて令和四年度の活動方針並びに事業計画案・一般会計歳入歳出予算案の審議が行われ、これらも異議無く承認されました。最後に第七十三回定例総会決議が採択され閉会となりました。

閉会後は現地出席者で明治神宮へ参宮、正式参拝を行い解散となりました。



定例総会

広報部 部長 神谷直樹

令和四年五月三十一日、伊勢山皇大神宮に於きまして「神奈川県神道青年会 令和四年度定例総会」を開催致しました。本年は、コロナ禍の開催ではありましたが総勢三十八名の会員の出席が叶い、二年ぶりに参会しての開催となりました。

総会におきましては、令和三年度の



活動・決算報告と令和四年度の活動方針、活動計画・予算案が慎重審議の上、承認されました。また、総会後は伊勢山ヒルズにて、感染症対策をしっかりと行った上で、賛助会員・顧問の先輩方のご出席を賜り懇親会を開

土佐検 ご希望のサイズでお作りします

森の道具屋

〒781-2120 高知県吾川郡いの町枝川 177-3
TEL088-850-4087 FAX088-850-4076
http://www.morinodouguya.ecweb.jp
mail morinodouguya@titan.ocn.ne.jp

誠実奉仕、信用第一

本社本庁 御用達
國學院大學 推薦店
明治神宮 指定店

瀬戸装束店

〔営業品目〕

●神職御装束 ●神楽装束 ●神社調度
●祭器具のすべて ●神前結婚式場神殿設備

〒164-0001 東京都中野区中野3丁目10番5号
電話 03-3381-4927 FAX 03-3381-4927



催すことができました。久々に会の仲間や諸先輩方との交流ができたことはとても嬉しく、仲間との絆を更に深め、先輩方の想いをしっかりと受けとめて私たちの今後の活力となるとも充実した懇親会であったように感じます。

まだまだ感染症の終息には時間を要しますが、各部署におきましても出来ることを模索し、通常の事業に加え様々な研修会や活動を計画し本年も活発に事業を展開して参ります。皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。



令和四年六月二十一日、埼玉県神道青年会主管による「第二十八回神青協一都七県協議会総会」が清水園（埼玉県さいたま市）に於いて開催され、当県より守屋会長をはじめ十名の会員が出席致しました。

総会には埼玉県神社庁 庁長 高麗文康様をはじめご来賓の皆様、神道青年全国協議会 会長 小林慶直様をはじめ神青協一都七県協議会の先輩方にご臨席いただき、総勢百名を越える出席者が集まり、式典が進められました。

総会後にメインストリート・マネジメント・リサーチ合同会社 代表社員である松本博之先生に「洪沢栄一の道徳経済合一説」と題してのご講演をいただき、資本主義の父と呼ばれる日本

**第二十八回神青協
一都七県協議会総会**
会計局 局長 山本喜道

洪沢栄一の企業倫理の実践、企業経営者としての社会員献事業、また明治天皇が崩御あそばされた後に明治神宮



まだ続くことと思いが、来年神青協一都七県協議会の皆さまを神奈川の地へお迎えすべく、しっかりと準備を進めて参ります。

創建の陣頭指揮に尽力され、私利よりも公益を優先された功績をご解説いただきました。

続いて行われた懇親会では新型コロナウイルス感染症の影響で途絶えていた先輩方・会員同士の親睦と交流を深めることが出来ました。コロナ禍での総会、懇親会の開催を主管いただいた埼玉県神道青年会には大変なご苦労があったこと、感謝申し上げます。

次年度の総会は輪番で当県の主管となり総会後の次年度主管県挨拶にて守屋会長より次回総会は令和五年六月二十二日に開催予定であること、実行委員長として私が務めさせていただきますことを公表されました。コロナ禍はまだ

創業百年信頼ブランド
麻・鈴緒・罎口紐・化繊注連縄製造

株式会社 モミヂヤ

〒328-0042 栃木市沼和田町12-14
フリーダイヤル 0120-22-1312
FAX 0282-22-1387
<https://momidiya.com/>

✦ 授与品全般・神具 ✦

創業安政貳年
株式会社 秋江

御守袋・錦守・木札・紙札・絵馬・土鈴
朱印帳・根付・神具・御装束・記念品

〒602-0056
京都市上京区堀川通上立売下北舟橋町835
TEL 075(432)2255(代) FAX 075(441)8011
<http://www.akie-net.com>



短歌研修会
教養部 副部長 阿部友哉

令和四年八月二十三日、鎌倉商工会議所に於いて「短歌研修会」を開催致しました。

本研修会は、短歌に関する基礎知識を学ぶことで改めてその魅力を知り、より多くの会員が歌会始に詠進することに繋がるよう、昨年より継続して開催しております。

昨年は一部役員のみ参集し、その他の参加者はリモート形式での受講でしたが、本年は参加者十四名全員が参集し受講しました。講師には昨年引続き、鎌倉歌壇会長・日本文藝家協会会員・現代歌人協会会員であり



鎌倉・瑞泉寺住職の大手真様をお招きしました。

講義ではまず、短歌の基礎知識として「五音」と「七音」が人の心情を表す黄金のリズムであること、また和歌の中には短歌をはじめ様々な種類があることを学びました。

次に、吉野秀雄等の歌を例に、短歌に於ける言葉の選び方、情景や心情の伝え方等を教えていただきました。

続いて、受講生が大下先生に事前提出した短歌を、一首一首丁寧に添削いただきました。各々が頭を悩ませながら詠んだ歌が、ほんの少しの言い換えや順序の変更、足し引き等により、情景や心情が鮮明に浮かぶ歌に生まれ変わる様は、まさに目から鱗が落ちるようでした。

本研修会で学んだ日頃感じたことや見た景色を歌に「詠む」こと、また先人の歌を「読む」楽しみを忘れずに、言葉の引出しを豊かにして、多くの会員が歌会始に詠進することに繋がります。更には日々の神明奉仕の糧となれば大変嬉しく思います。

「デジタル社会における神社の在り方」を学ぶウェブ研修会
副会長 志村幸弥

副会長 志村幸弥

令和四年五月二十日、神道青年全国協議会主催の「デジタル社会における神社の在り方」を学ぶウェブ研修会がZoomを用いて開催されました。講師は國學院大學研究開発推進センター協同研究員 河村忠伸先生が務められ、「デジタルシフト社会における神社」と題し、講演されました。

研修会は大きく三部に分かれており、まず河村先生からの講義があり、その後に参加者を七班に分けてのグループディスカッション、次いで各班のディスカッション内容の発表を行いました。

講義の始めに河村先生の一私見であると前置きし、新型コロナウイルス感染症の蔓延により「デジタルシフト」が進んでおり、現金を持ち歩かない人や神社へ参拝する



社頭授与品専門奉製所
(主要奉製品意匠権所有に付、侵害厳禁)

帝陸神宝(株)

〒310-0902 水戸市渡里町 835-1

☎ (水戸) 029 (227) 0511 (代)
FAX (水戸) 029 (227) 0512



ことは出来ないが祈禱をして欲しいという要望が増えてきており、オンラインでの祈禱やインターネットを通じた神符の授与、賽銭のキャッシュレス化などの神社の新たな取り組みについて、神祇信仰から逸脱していかないか学的検討が必要であると述べられました。

次に賽銭のキャッシュレス化、オンライン参拝、インターネットを通じた神符の授与について、前提としてそれぞれがどういった性質のものであるのかをよく考え、それらの性質がデジタル化した際に変容するようであれば神祇信仰に反することとなるため止めるべきであるとし、具体例を交えながら説明されました。

賽銭のキャッシュレス化については、教学的に可であっても全ての神社がキャッシュレス化する必要はなく、各社の判断に依るとし、賽銭の持つ意義の説明の後、「お供え」を寄付、「贖物(祓)」を、

財物を差し出す事とするならばキャッシュレス決済でも意義があると言えるが、ヒトガタを考えれば現物の方が祓の効果は高いと言える」と説明されました。

オンライン参拝については、多様な表現が用いられているが、きちんとした定義がなく、現在行われているオンライン参拝について具体例を交えて説明。「オンライン参拝は遥拝となり得るか」について言及され、参詣曼荼羅や御神号の掛軸などを例に出し、オンラインにて画面の画像を拝むことは遥拝とはなり得ないとし、御祈禱のネット配信は記録以上の意味を持つものではないと述べられました。

さらに「神祇は実在するものであって架空の存在ではなく、実在するからこそ霊験がある」「インターネット上の架空の神社や、架空のキャラクターを祀る神社ではない」と説明し、実際の参詣の重要性を説きつつも、今後の広報手段としてのインターネットの優秀性を説明されました。

インターネットを通じた神符の授与については、社頭での授与が本義ではあるが、参詣が出来ない場合の措置として郵送での授与は戦前から行われていた事を説明され、通信販売ではない事を強調すべきであると述べられました。

ここまでの講義の後、参加者を七班に分けてのグループディスカッションを行いました。「デジタル化に対応すべく各社での取り組み」、「ネットを通じての授与において『買物かご』等の表現をどうするか」、「本日の主題に對しての疑問」の三点について話し合いがなされ、私の班では主に各神社での具体的なデジタル対応について意見が交わされました。

グループディスカッションの後に班ごとに内容を発表し、また各班から出た質問に河村先生よりお答え頂きました。

本研修の主題となる「デジタルシフト」は我々青年神職が避けては通れない道であります。一人一人がしっかりと教会的検討を行い、こうした研修の受講や、青年会員同士・先輩後輩神職と意見を交わし、神社界全体での議論が重要になってくるであろうと感じる研修でありました。

お田植え
企画部 副部長 **平井泰行**

令和四年五月二十五日、神奈川県神道青年会会長の守屋隆広をはじめ、企画部役員によって田んぼの畔の修繕作業であるクロツケを実施致しました。また、同年の六月六日にはお田植え

宮内庁 神社本庁・神奈川県神社庁・各県神社庁
全国神社・小笠原流弓馬術礼法教場

御用達

株式会社 大槻藝東店

代表取締役 大槻 奈津子

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-13-2

http://www.ootsuki-shozokuten.com
E-mail: info@ootsuki-shozokuten.com

千代田線・湯島駅徒歩4分 / 有楽町線・末広町駅徒歩6分

電話：03-3835-3201 FAX：03-3835-0617

各種御守・授与品全般・デザイン制作承ります。

にしき

有限会社 西紀

TEL: 072-810-8133
FAX: 0120-71-8135
FAX 24時間受付

〒576-0034 大阪府交野市天野が原町 4-1-7
メール: mytom@chive.ocn.ne.jp

実はどれ程に恵まれている事かと思わ



を行いまし
たが、本年
はあいにく
当初の予定
日が朝から
の大雨で
あった為、
当日は神事
のみを行
い、翌日に
改めて神田
をお祓い
し、お田植
えを実施致
しました。
昨今はコ
ロナ禍に加
え、日本各
地で記録的
な豪雨や災
害などが頻
発してお
り、多少の
天候上の問
題があった
とはいえ、
前年と同様
の作業が出
来ていると
いう事が、

す。

一日も早く、コロナ禍が収束し、以
前の様に子供達や多くの人々の賑わい
が田んぼに戻ってくる事を切に願いま
す。
日本は国の成り立ちや歴史において
も、根底に「稲作」があり、時代時代
の様々な技術を柔軟に取り入れなが
ら、神代より今日に受け継がれていま
す。



ざるを得ま
せん。
本年も未
だ、コロナ
禍が鎮まら
ず、人と人
とが距離を
保つのが是
とされる時
世ではあり
ますが、や
はり大事を
成す為には
人々が集ま
り、力を合
わせて事に
臨む必要が
あるのだと
稲作を通
し、改めて
感じ入る次
第です。



名が参加致しました。
第一講では皇學館大學の高野助教が
モデレータ、女性神職の代表として太
宰府天満宮の高山権禰宜と荘内神社の
石原権禰宜がパネリストを務められ



神青協夏期セミナー
副会長 松尾寛一

令和四年
八月三十
日・三十一
日、神社本
庁二階大講
堂に於いて
神青協主催
の夏期セミ
ナーが開講
され、当会
からは守屋
会長以下四
人と現代神
社」と題し
パネルディ
スカッション
が行われ
ました。資
料として毎
年十二月に
『月刊若木』
へ掲載され

社殿造営・神棚神具製造
有限会社 倭田屋
ひょうたや
代表取締役 田中弘紀
〒516 0026
伊勢市宇治浦田二丁目〇ノ三八
電話 〇五九六 二三 三九〇五
FAX 〇五九六 二三 三九〇八

KOWA
KOWA DISPLAY CO.,LTD.
大切なイメージをカタチにします。
オリジナル授与品・記念品
株式会社 晃和ディスプレイ
東京都目黒区目黒本町3-13-10 〒152-0002
TEL: 03-3792-0211 FAX: 03-3792-0925
ホームページ http://www.kowa-dsp.co.jp/

ている神職数・宮司数と統計があったのですが、平成元年より令和に掛けての三十年間で女性神職・女性宮司の数は二倍まで伸びており、古代とは違う現代の女性の神職としてどういった役割や可能性があるかが話し合われました。



第二講では、スターバックスコーヒージャパンのCEOを務められた岩田松雄先生をお招きし「ミッション」

の存在理由」と題し、理念にはミッション（何のためにしているか、存在意義）、ビジョン（目指す方向性）、バリュー（目標を達成するまでに何を大切にするか、行動指針）の三つから成り、神社のミッションを「祈ること」とすると、何のために神社があるのか、我々は何のために神職をしているのか、今一度原点に立ち返り、自身は神様に何故生かされているのかよくよく考えて日々の奉仕に励んで欲しいとお話を頂きました。

第三講では神社本庁総合研究所の部



長である浅山雅司先生より「デジタル化に伴う神社での対応を考える」講義を受けました。バーチャル参拝やご祈禱や

授与品の通信頒布、またキャッシュレス決済について、信仰的観点や法的観点から説明され、新しい時代だから新しいことをやるという考え方は決して正しいことばかりではなく、神職として不易流行を見定めることが大切である。時代の流れからデジタル化は必要不可欠となっているが現在のデジタル推進には多くの落とし穴が見受けられることも事実であり、変えないとしても変えるとしても何故そうしたのか明確に説明が出来なくてはならないと仰られておりました。

三年振りに対面にて開講された本セミナーでありますが、参加者は百名を超えており、段々とコロナ禍前の様相を取り戻しつつあることを実感すると共に、久し振りに他県の青年神職の皆さんとお話することができ、刺激を受けた二日間でもありました。

誠実と真心で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製

天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL (06) 6702-6009 (代表) FAX 0120-34-2996

内宮に一番近い宿

早朝参拝のご案内をしております

ゆとりとやすらぎの宿

神宮会館

伊勢神宮崇敬会

—ご宿泊に関するお問い合わせ—

〒516-0025 伊勢市宇治中之切町152
TEL.0596-22-0001/FAX.0596-22-1517

インスタグラム好評配信中!

御装束・御簾・神輿
神祭具調度

宮内庁御用達・京都百年老舗

竹重

株式会社

〒600-8324 京都市下京区西洞院花屋町上る東側町510
☎075-371-0394 FAX075-341-6966
フリーダイヤル 0120-37-0394

神祭具 授与品 記念品 奉製

神路社

株式会社

本社
〒516-8611 三重県伊勢市岩瀬2丁目5番29号(私書箱第26号)
電話番号 0596-24-5858 / FAX 0596-24-5110
E-mail info@kamijisya.co.jp

神苑(東日本営業所)
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目26番14号 ACTビル4階
電話番号 03-3280-6720 / FAX 03-3280-6721
E-mail info-tokyo@kamijisya.co.jp
http://www.kamijisya.co.jp

(9)

神職のための神宮研修会

副会長 志村幸弥

令和四年九月二日、神道青年全国協議会主催「神職のための神宮研修会」がウェブ会議システムZoomを用いて開催されました。

本研修会は、第一講・第二講に分けて開催され、第一講を神宮権禰宜頒布課長 小針孝裕先生、第二講を神宮権禰宜 広報課長補佐 中西直樹先生より講義を賜り、全国より一四六名の参加がありました。



第一講では「神宮大麻について」と題され、神宮大麻の歴史について幕末から明治にかけての時代的背景を交えながら、神宮大麻の誕生から神宮御改正、大麻頒布の変遷について説明されました。

第二講では「神宮と式年遷宮」と題し、神宮や神宮で行われている祭祀について説明され、続いて式年遷宮の歴史と諸祭・諸行事について映像を交えて説明されました。

人口減少の時代にあつて、大麻頒布



や今後の式年遷宮に關し国民の意識を高めていくことは私達青年神職の務めであります。

本研修会で得た知識を糧とし、神宮大麻全国頒布百五十周年の節目となる本年、より一層の啓発活動に取り組んで参ります。



授与品・記念品御奉製
株式会社 長谷川製作所
 代表取締役 長谷川義實

HASEGAWA
creation with warmth

〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町466-1
 TEL: 048-921-1221 / FAX: 048-921-1515

創業百有余年
 — 伝統の技術を活かした授与品作り —
 神奈川県神社庁をはじめ
 全国各神社でご利用頂いております。

神符・守札・木札・金襴御守・御朱印帳
 交通安全守・彫り木守・守護矢・ステッカー
 シール型守・縁起物・その他各種授与品

株式会社 丸井紙店
 TEL 055-272-0136 FAX 055-272-3966

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門763 <https://jujyohin.co.jp/>

繊細な技術と日本の伝統を今に継ぐ
 授與品の奉製

古都 奈良の
株式会社 大和奉神堂
 〒630-8434 奈良市山町782番地
 TEL 0742-62-3235(代)
 FAX 0742-62-3228
 E-mail: hoshindo782@yahoo.co.jp
 HomePage: <http://www.yamato-hoshindo.net/>

祈りのかたちに
 京の伝統と真心を込めて

御社寺ならでしの御守をオーダーメイドで奉製いたします
 色・柄・形などお気軽に御相談ください

京都奉製株式会社
 京都本社 / 東京営業所 / 仙台営業所 / 福岡営業所
 ☎ 0120-164124 (イロイロニシキ)
 ホームページ <http://www.omamori.co.jp>

令和4年度前期活動報告

4月

- 14 神青協一都七県協議会「第1回定例会議」
(神社本庁)
- 19 会計監査会並びに組織調整委員会(戸部
杉山神社)
- 21 第1回拡大役員会(稲毛神社)
- 26 神道青年全国協議会「第73回定例総会」
(神社本庁・Zoom)
- 28 神政連東京都・神奈川県本部合同「靖国
神社参拝研修会」(靖国神社)

5月

- 7 青少年育成事業「稲作体験」種まき(神
奈川県神道青年会御神田)
- 10 神奈川県戦没者慰霊堂大祭(神奈川県戦
没者慰霊堂)
- 15 神道青年全国協議会「沖縄本土復帰50
周年記念日 国土平安祈願祭」(各奉務
神社)
- 20 神道青年全国協議会「デジタル社会にお
ける神社の在り方を学ぶ」ウェブ研修会
(Zoom)
- 25 青少年育成事業「稲作体験」クロツケ(神
奈川県神道青年会御神田)
- 25 第2回拡大役員会(伊勢山皇大神宮)
- 30 関東一都七県神政連協議会「時局研修会」
助勢(自民党本部)
- 31 令和4年度定例総会・定例総会后懇親会
(伊勢山皇大神宮・伊勢山ヒルズ)

6月

- 6 青少年育成事業「稲作体験」お田植え(神
奈川県神道青年会御神田)
- 10 あさお慶一郎決起集会助勢(鎌倉芸術館)
- 16 第3回拡大役員会「一七協第29回総会」
実行委員会(第1回)(稲毛神社)

- 21 第28回神青協一都七県協議会総会(清
水園)
- 22 神道青年全国協議会第12回神宮啓発委
員会(神社本庁・Zoom)
- 28 神奈川県敬神婦人連合会創立60周年記
念総会(報徳二宮神社)

7月

- 4 山谷えり子街頭演説キャラバン助勢(県
内各所)
- 6 第4回拡大役員会「一七協第29回総会」
実行委員会(第2回)(太田杉山神社)
- 26・27 第35回青少年書道展・第20回絵画展助
勢(横浜・新都市プラザ)
- 29 神道青年全国協議会第13回神宮啓発委
員会(シンフォニアテクノロジー響ホー
ル伊勢・Zoom)

8月

- 4 役員会「一七協第29回総会」実行委員
会(第3回)(品濃白旗神社)
- 22 神青協一都七県協議会「第2回定例会議」
- 23 短歌研修会(鎌倉商工会議所)
- 30・31 神道青年全国協議会令和4年度夏期セミ
ナー(神社本庁・Zoom)

9月

- 2 神道青年全国協議会「神職のための神宮
研修会」(Zoom)
- 5 第5回拡大役員会「一七協第29回総会」
実行委員会(第4回)(師岡熊野神社)
- 21 一都七県神職野球大会(大宮けんぼグラ
ウンド)
- 28 令和5年歌会始詠進
- 28 神道青年全国協議会第15回神宮啓発委
員会(Zoom)
- 30 祭式衣紋研修会(神奈川県神社庁)

ゴルフ同好会



ゴルフ同好会では十月三日に静岡県駿東郡にある足柄森林カントリー倶楽部にて数年ぶりにゴルフ会を開催致しました。八名の参加者が集まって久しぶりのゴルフを楽しみ、今回の栄えある優勝は守屋会長となり、盛況にて終えることができました。

コロナ禍の中でなかなか大会を開催することが出来ませんでした。今後は来年予定されている神青協一部七県協議会の芝球会に向けてコースの選定や下見を兼ねた会の開催などを予定しております。

初心者の方にも楽しんでいただけるようゴルフ練習場での練習を企画し、会員同志の親睦を深める一助となる

よう活動して参ります。

【事務局】 日枝神社 山本喜道

〇四四―四二二―三二七二

フットサル同好会



フットサル同好会は平成十五年より発足され、横浜市の体育館を中心に経験者、初心者、年齢や性別を問わずに多くの仲間たちと月に一〜二回ほど活動を行っております。

ストレッチや準備運動から練習を始め、普段あまり身体を動かさない方でも気軽に参加を頂きます。

また、ボールの蹴り方やパスの仕方などの基礎練習も行っておりますので、未経験者でも楽しく練習に参加出来ます。

フットサルを通じて神奈川県内だけでなく、他県との交流も行っているので、運動を通し多くの仲間たちとの親睦を深める事が出来る環境となっております。

ります。

お子様連れで来られる会員も多数いらっしゃいますのでご家族での参加も是非お待ちしております。

ただいま新型コロナウイルスの影響により活動休止中ではございますが、また皆様にプレーできる日を楽しみにしております。

【事務局】 八幡大神 小泉匡史

〇四四―五一―六〇一〇

野球同好会



下にて埼玉県神道青年会の主管で開催されました。

我が神奈川県神道野球同好会は一チーム二十二名にて大会に参加いたしました。大会に備え、一部のメンバーは前日に埼玉県に入り万全の状態で大大会に臨みました。当日は台風の影響も心配されましたが、天候も回復し清々しい秋晴れの中、また埼玉県神道青年会のご尽力もあり、滞りなく進行されました。当県は三位決定戦で惜しくも敗れて四位という結果で大会を終えました。結果は残念ではありましたが、チームは声がよく出ており雰囲気では他のチームを圧倒する勢いで、楽しくプレーすることができました。

来年度は神奈川県の主官になりますので運営をしっかりしつつ、次こそは優勝を目指し、より良い雰囲気ของทีมを作れるよう日々の練習に取り組んで参ります。

また、野球同好会では会員を随時募集しております。活動は月に一〜二回、横浜近郊の球場にて行っております。経験の有無・男女問わず、野球に興味のある方、普段の運動不足を嘆いている方、気軽ににご参加ください。心よりお待ちしております。(坂路慎己)

【事務局】 神明社 禰宜 石原誠人

〇四五(三四一)六三六五
(神道青年会顧問)

去る九月二十一日、一都七県神道野球大会が埼玉県の大宮けんぼグラウン

新入会員紹介



田中 義将

生年月日：平成六年
一月八日生 奉職
先：伊勢山皇大神宮

出身地：神奈川県 愛称：たなびー
座右の銘：特になし 趣味：特技：野球観戦 これからの抱負：大学を出て六年間大阪天満宮に奉職させて頂き、本年の四月より伊勢山皇大神宮でお世話になっております。青年会の活動に積極的に参加させて頂き、皆様のお役に立てるように努力していきますので、宜しくお願い致します。



鈴木あすか

生年月日：平成六年
七月十七日 奉職
先：本牧神社 出身地：横浜市 趣味：特技：読書、手工芸 これからの抱負：この度、新たに青年会に入会させて頂きました。社頭では先輩方や参拝の方々から教わることの多い日々ですが、こちらに所属することでより多くの先輩方に学ばせて頂ける機会が増える事を嬉しく思います。精進して参りますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



牧野 裕希

生年月日：昭和六十三年九月三十日 奉職先：白旗神社 出身地：大阪府 愛称：マッキー 座右の銘：為せば成る 為さねば成らぬ何事も 趣味：特技：映画鑑賞 これからの抱負：埼玉県より七月一日付で転入致しました牧野と申します。今年の一月に入籍した妻と二人、まだまだ新しい土地と生活に慣れないことも多いですが新鮮な日々を送っています。今後は神奈川県の一員として一杯、神明奉仕して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

慶弔報告

◇結婚

神奈川県神社庁 録事 片岡昂也
令和四年五月二十九日

入会・退会会員

◇入会

- 白旗神社 権禰宜 牧野 裕希
- 白旗神社 権禰宜 新久田泰史
- 江島神社 権禰宜 尾澤 雅之
- 伊勢山皇大神宮 権禰宜 首藤 薫

◇退会

- 白旗神社 権禰宜
- 江島神社 権禰宜
- 伊勢山皇大神宮 権禰宜

編集後記

稀にみる酷暑であつた長い夏を乗り越えて、

実り豊かな秋の候となりました。皆様のおかげをもちまして、ここに無事完成しました「会報神奈川七十四号」をお届け致します。ご多忙の中ご寄稿下さいました曾屋神社の守山権宜様をはじめ、ご協力いただきました青年会員の皆様、ご協賛いただきました関係企業の皆様には、心より厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症との闘いも、はや三年目となりました。感染対策を徹底した上で、少しずつでも日常を取り戻していこうという時流のさなか、夏の盛りを襲った第七波は国内感染者数・死者数ともに過去最大を記録し、いまだ暗中模索の日々が続いています。こうした非日常が日常となりつつある中で、かつての戦禍や自然災害にも負けず、変わらず守り継がれてきた神社の在り様に改めて畏敬の念を抱かずには居られません。この営みを未来へ繋げるべく、一神職として決意を新たにするとともに、一刻も早く事態終息の兆しがみえますよう切に願っております。

何かと困難な時代ではございますが、当会ではより良い活動を目指して鋭意努力を続けて参ります。皆様におかれましては、引き続き温かなご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。七五三の頃より神社はいよいよ繁忙期を迎えますが、朝夕の寒気も次第に厳しくなっておりますので、どうかご自愛専一にてお過ごし下さいませ。

広報部副部長 吉本けいと

無公害性防火難燃剤・ファイヤーレターデント防燃水

TEL.048-949-6888

●JIS9001品質管理会社
木造建築のエキスパート塗装業集団
による安心・信頼の施工

前工程 ●エアースプレー施工
※長年堆積した塵や埃を特製チップで除去

後工程 ●ファイヤーレターデント防燃施工
※既存する層も信頼ある防燃剤塗布
※塵と埃除去後、薬剤が1.5~2倍浸透

[薬剤効果] 防火難燃性能 / 防燃効果 / 防蟻効果

- 多くの神社仏閣・公共施設に採用!
- 1,300°Cでも引火しない!
- 無色透明人体・建物に無害!

販売元:コクト環境株式会社
施工元:江口工業株式会社
影の園建設事業協同組合

株式会社 **クレックス**

代表取締役 近藤 栄人

神奈川県神社庁御用達

〒194-0014 東京都町田市高ヶ坂六十八ー一〇番地
電話 〇四二ー七二八ー八九四一代
FAX 〇四二ー七三三ー三五六三